

# 日本模擬国連関西事務局

## 年間活動報告書(2010年)



### 目次

	内容	該当ページ
①	年間コンセプトについて	P.2
②	年間活動報告(2010年)	P.3~4
③	関西 OBOG 会説明書	P.5~8
④	日本模擬国連の課題	P.9
⑤	日本模擬国連～参考資料～	P.10~11
⑥	2011年の模擬国連@関西	P.12
⑦	2010年関西事務局決算	P.13~14
⑧	2010年の関西事務局員	P.15

日本模擬国連関西事務局

(Japan Model United Nations kansai Administration) 2010年12月22日発行

## ●年間コンセプトについて

### ☆2010年の年間コンセプト(活動方針)☆

#### Win-Win~持続可能な模擬国連~

Win-Winとは、他人にとっても自分にとっても相互に利益を得て、円満な関係を築くための考え方です。模擬国連が発展、拡大するには、関西圏の研究会、支部はもちろんのこと、関東事務局をはじめとする全国の模擬国連団体で Win-Win な関係のもと、協力していくことが必須だと考えています。特に日本模擬国連統合 1 年目の 2010 年は、統合に伴い様々な問題が出てくることが予想されます。問題に対処する際にどこかだけが不利益や利益を得るような解決策になっていかないかよく考え、関西事務局として対処していきたいと考えています。

「持続可能な模擬国連」とは、先に出た「Win-Win」を念頭において大事にしていく活動方針です。先にあげた統合問題で例をあげると、どこかの模擬国連団体だけが不利益や利益を得るだけの解決策を実行し、ひびが入った状態では一時的には問題解決したように見えても将来で必ず問題が出てきます。これに加え、模擬国連は、模擬国連の魅力をさらに向上させ持続的に毎年会員が入ってくるようにしなければ、これからの中子化社会で現在のような大規模な活動を展開することは難しくなってしまうでしょう。だからこそ持続可能な団体になるべく、特に今年は OBOG 会の設立により縦の繋がりを強めることや模擬国連の利点である他大学、他地域の学生との交流を増やして模擬国連の魅力をさらに向上させしていく考えであります。

### ☆コンセプトの実践例☆

～Win-Win を心がけて、いかに持続可能な模擬国連の環境作りをしていったか～

#### ◎魅力の向上

- サマプロの開催、総会での交流企画(懇親会など)、  
OBOG 会の設立、OBOG と現役との交流会の実施

#### ◎研究会活動のサポート

- プロシージャー講習会、総会でのスキルアップ企画、秋会議の開催(注 1)

#### ◎継続的に会員が集まる仕組作り

- 国際系サークル合同説明会プロジェクト開始

注 1) 秋会議を今後も事務局主催とするかどうかは十分な検討が必要です。

## ●年間活動報告(2010年)

内容	日程	場所	リーダー
年間計画、予算、コンセプト策定	1~2月		
第1回総会	3月12日	西宮	
プロシージャー講習会	4月29日 5月6日	西宮 京都	金澤良太
第2回総会	5月30日	大阪	棚瀬絢子
全国代表者会合	8月8日	神戸	
サマープロ－遊び合宿	9月6、7日	奈良・曾爾村	新谷千織
秋会議	9月19、20日	大阪－長居	石川清大
OBOG会(OBOGと現役の交流会)	10月9日	京都	三本哲行
国際系サークル合同説明会@同志社 プロジェクト開始	10月		清野紘史 <sup>1</sup>
第3回総会	12月5日	西宮	市来健司
全国代表者会合	12月末日	東京	
2011年事務局へ引継ぎ	12月末日		三本哲行

### ☆イベント概要☆

<b>総会</b>	開催日：3月12日、5月30日、12月5日
<u>第1回総会</u> ：西宮にて参加者数約40名で開催しました。この総会では、2010年事務局の活動方針や年間計画を発表。企画ではパネルディスカッションを行い、早稲田研究会OBの中村長史氏と京都研究会OBの馬場康郎氏をゲストに迎えて模擬国連の魅力やモギコッカーとして考えていたことについて話ををしていただきました。	
<u>第2回総会</u> ：大阪にて参加者数約60名で開催しました。2部に分けて行い、第1部では日本模擬国連の課題について代表者を中心に話し合いを実施。第2部では事務局の活動紹介に加え、企画として交渉ゲームを行い、またオックスファムジャパン事務局長をお招きして講演をしていただきました。	
<u>第3回総会</u> ：西宮にて開催します。事務局の年間活動報告と2011年の執行部や大会3統括、事務局長等の紹介を行います。企画では全日本大会会議監督の池上京氏と京都研老メンの鈴木博貴氏のお二方をゲストに迎えてパネルディスカッションを実施予定。参加者の会議スキルアップを目指して、「政策立案の仕方」をテーマにお話していただきます。	

<sup>1</sup> 2010年中のみ。2011年から担当者が変わります。

**プロシージャー講習会**

開催日：4月29日(神戸研)、5月6日(京都研)

プロシージャー（模擬国連会議のルール）の講習会を行いました。京都研ではプロシージャーの説明と小グループに分かれての座談会のみでしたが、神戸研では模擬会議も実施しました。

**サマーフロー(夏合宿)**

開催日：9月6、7日

奈良県の曾爾村にて1泊2日で開催しました。このプロジェクトでは企画スタッフを事務局員以外からも募りました。その結果、6名の新メンスタッフが様々な企画を発案し、野外炊飯やキャンプファイアなど新たな企画が盛りだくさんでした。参加者は約40名で新メンから神メンまで幅広い世代が集まり、遊びや飲み会を通じて交流を深めました。

**秋会議**

開催日：9月19、20日

会議監督の前田志保理さん(京都研)発案のもと、同じ会議を同時並行で2つ行うというユニークな設定の会議を行いました。設定会議は欧州理事会で、時計の針を2004年12月まで戻して「トルコとのEU加盟交渉の是非」について熱い議論がかわされました。

**OBOG会**

開催日：10月9日

今年から開始した現役生とOBOGの懇親会です。参加者は約70名（OBOGは21名）という当初想定していた人数を大幅に上回る人数が集まり、盛り上りました。OBOGは神戸研や京都研出身者はもちろんのこと、関東の研究会出身の方が数名、また関東に現在お住まいの方等の遠方からも多数ご参加いただきました♪

☆ OBOG会の写真 ↓ ☆



## ●関西 OBOG 会説明書

### はじめに

関西事務局は2010年に関西 OBOG 会を設立し、OBOG 名簿の収集<sup>2</sup>、OBOG と現役の懇親会(以下「懇親会」と表記)の開催等様々な活動を行ってきました。

お知らせ

### ①関西 OBOG 会とは

「日本模擬国連関西 OBOG 会」は日本模擬国連関西事務局が運営する、主に、京都・神戸研究会・北陸支部の模擬国連 OBOG 会員の同窓会組織<sup>3</sup>です。

OBOG 名簿の  
利用については  
6.7 ページで！

### ②関西 OBOG 会の目的

関西 OBOG 会員(以下 OBOG と表記)同士の交流促進、現役模擬国連会員(以下現役会員と表記)と OBOG との交流促進、また現役会員の高揚発展を図ること。

### ③関西 OBOG 会で関西事務局が具体的に行うこと

- ・ OBOG の名簿の収集
- ・ 現役と OBOG、また OBOG 同士の交流促進への支援<sup>4</sup>
- ・ 現役と OBOG との懇親会(以下「懇親会」と表記)の開催
- ・ 大会、研究会活動等の現役の模擬国連活動へ OBOG からの支援のお願い  
(寄付金や講演会へのご協力等)

### ④今後について

#### OBOG 会員から年会費はいただきません。

関西 OBOG 会ではより多くの方に名簿登録していただき、OBOG 同士、OBOG と現役会員との交流を促進させるために OBOG から年会費をいただきません。

#### 「懇親会」(現役と OBOG の懇親会)を主催

現役会員と OBOG との交流を促進すべく、関西事務局は懇親会を開催致します。

開催時期は2011年も10月で検討中ですが、関東のOBOG会(毎年10月3,4週に開催されているOBOGと現役との懇親会)との関係上、2012年以降は関西の懇親会の開催時期をずらす可能性がございます。

<sup>2</sup> 関西事務局 HP の OBOG 名簿登録フォームにて「お名前」、「入学年度」、「出身研究会」、「勤務先」、「PC アドレス」等の登録をお願いしております。

<sup>3</sup>決して上記3つの模擬国連団体以外の模擬国連 OBOG を除外するものではありません。

<sup>4</sup> 具体的な内容は12月までにHPへの掲載を通してお知らせ致します。

## ☆名簿の取り扱いについて☆

\*名簿公開の目的) ~何のために公開するのか~

OBOG 会員<sup>5</sup>同士の交流、現役会員<sup>6</sup>への更なるご支援

\*名簿の管理責任者) ~誰が名簿を管理するのか~

日本模擬国連関西事務局 OBOG 担当

\*公開する名簿の掲載範囲) ~どこまで公開するのか~

アンケート<sup>7</sup>で承諾いただいた掲載範囲のみ、現役会員や OBOG 会員に公開

\*名簿公開対象) ~誰に公開するのか~

アンケートで承諾いただいた対象範囲で公開

\*名簿公開場所) ~どこで公開するのか~

OBOG 会員への公開情報 →OBOG 会員メーリングリスト<sup>8</sup>にて公開

現役会員への公開情報 →現役会員の希望者のみに公開

\*非公開名簿情報について) ~非公開の情報はどのように管理されるのか~

非公開の名簿情報は日本模擬国連関西事務局 OBOG 担当のみが保持。

OBOG 会関連のイベントを連絡する場合のみ使用。

\*名簿のセキュリティー) ~データのセキュリティー~

PDF ファイルにパスワードをつけて公開

\*名簿更新時期) ~いつ名簿情報が更新されるのか~

12月1日、7月1日の年2回を予定

<sup>5</sup> OBOG 会に入会された(名簿登録された)方を指します。

<sup>6</sup> 模擬国連の正会員を指します。

<sup>7</sup> 添付ファイルを参照お願い致します。

<sup>8</sup> 現在作成中。アンケートの回答いただいた方から招待メールを送らせていただきます。

## ☆OBOG 会の利用の仕方-Q&A☆

### 現役会員編

Q.1 研究会 or 大会で講演を依頼したいのだが、どんな OBOG がいるのかをどうすれば知れるのか？

A.1

関西事務局の OB 担当(or 事務局長)にお問い合わせください。関西事務局が直接名簿をお見せするか、名簿を見てどのような企業や機関に勤務されている方がいらっしゃるかをお知らせします。

Q.2 就職活動のためにOBOG 訪問をしたいのだけど、どこに問い合わせたらいいのか？

A.2

希望者に「就職活動の相談可」の OBOG 名簿をお渡します<sup>9</sup>。ですが個人情報の関係上、アドレスは掲載されていないので連絡をとる際は事務局までお問い合わせください。1週間以内に該当の方の連絡先を教えます。その後は「OBOG 接触ルール」に則って OBOG の方と連絡をとってみてください。

### OBOG 編

Q.3 今年卒業なのだが、どうすれば関西 OBOG 会に入れるのか?<sup>10</sup>

P.8 に  
掲載しています。

A.3

関西事務局 HP に名簿登録フォーム(<http://kansai-mun.org/obog.php>)がございます。そちらに登録していただければ手続き完了です！入会費や年会費はありません。登録完了後に関西 OBOG 会員専用の ML へ招待致します。ML では OBOG 会員の名簿をはじめ、様々な資料を共有しております。

Q.4 OBOG 同士でどのようにして連絡をとればいいのか？確かに OBOG 名簿にはメールアドレスや住所の詳細等の個人情報は基本的に掲載していないはずだが。。。。

A.4

関西事務局にお問い合わせください。1週間以内に該当の方の連絡先をお伝え致します。

Q.5 関東に引越ししても関西 OBOG 会でいいの？

A.5

関西圏の研究会、支部出身者を中心とした OBOG 会なので問題ありません。また関東 OBOG 会と関西 OBOG 会両方に入会することができます。ですが関東 OBOG 会は関西と運営方式が大きく異なりますのでご注意ください。(関東の OBOG 会では、入会費や年会費を払う必要があります。)

<sup>9</sup> 2011年2月1日より受付開始(予定)

<sup>10</sup>元模擬国連会員以外の条件で特に除外致しません。途中退会でも結構です。ですが1年以上所属されていた方が望ましいと考えております。

## ☆OBOGとの接触ルール☆

事務局や研究会など組織の運営、会議運営、大会運営など模擬国連活動へのアドバイスや就職活動、インターンシップ、公務員試験受験、大学院進学などキャリア構築へのアドバイスをOBOGの方々からいただきたいときをはじめとした、OBOGの方々との接触の際には以下のルールを守ってください。

### 基本編

- a. 最初に連絡する際は必ず 所属研究会名・大学名・学部名・回生・氏名をしっかり名乗る。模擬国連活動において役職を拝している場合はその役職名も同様に名乗る。
- b. 最低限の敬語は徹底する。尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分けに注意すること。
- c. 一人称は「私」に統一すること。「おれ」は言うまでもなく厳禁。
- d. 連絡を取りたいと思った理由をしっかり伝える。
- e. アドバイスをいただけた場合は必ずお礼のメールまたは手紙を送ったり電話をかけたりすること。感謝の気持ちを忘れずに。

### OBOGの方々と直接お会いする場合のルール

- f. OBOGの方々はご多忙なためすぐに返信は返ってこないことを承知しておくこと。早くて3日、遅くて1週間程度かかるであろうと予想しておくべし。
- g. なぜ面会したいのか、なぜメールなどの間接的コミュニケーションではいけないのか、その理由と熱意を丁寧に伝える。
- h. 面会日程は必ずOBOGの方々のご都合を最優先する。自分から日時を指定するのではなく、OBOGの方々に空いている日を提示していただき、都合の良い時間を選んでいただくようすること。
- i. (キャリア構築に関する相談の場合) 面会する前にその先輩がどういう企業、役所・省庁、大学院にいらっしゃるのかを必ず最低限、公式ウェブサイトを見て調べておくこと。
- j. 服装は基本的にスーツでお会いすること。どうしてもという場合はこぎれいな服装(セミフォーマル)でもかまわない。企業へ出向いて面会する場合は、念のため事前にその先輩に相談しておくとよい。
- k. 絶対に面会時間に遅刻しないこと。言うまでもなく、ドタキャンは厳禁である。
- l. 名刺をあらかじめ作成しておき、お渡しできることが望ましい。ただし、先輩方が名刺をお渡しくださることが当然だと考えないこと。
- m. 面会後には必ずお礼のメールまたは手紙を送ったり電話をかけたりすること。感謝の気持ちを忘れずに。
- n. 一般的に、OBOG訪問する時期に決まりはない。

## ●日本模擬国連の課題

### 問題点

#### ① 加盟要件

→日本模擬国連に入っていない団体をどうするか。

P.10 の日本地図や組織図  
を参考に見てください♪

#### ② 団体の地位

→研究会、支部、模擬国連に入っていない団体はどう違うのか。

### なぜ問題が生じたのか？

2009年まで日本の模擬国連は、関東(模擬国連委員会)と関西(関西模擬国連)で分立していたが、2010年に1つに統合し「日本模擬国連」となった際に、

日本模擬国連に加盟しなかった団体があった。

じゃあどのような条件で加盟を認めるか？

(①加盟要件)

計8団体  
(札幌、仙台、長岡、SFC、  
ICU、名古屋、島根、岡山)

- ・新しく入った団体の権利、義務は？
- ・もし研究会や支部になりたい場合の権利と義務は？
- ・そもそも研究会と支部ってどう違うの？

(②団体の地位)

### なんで問題なの？？

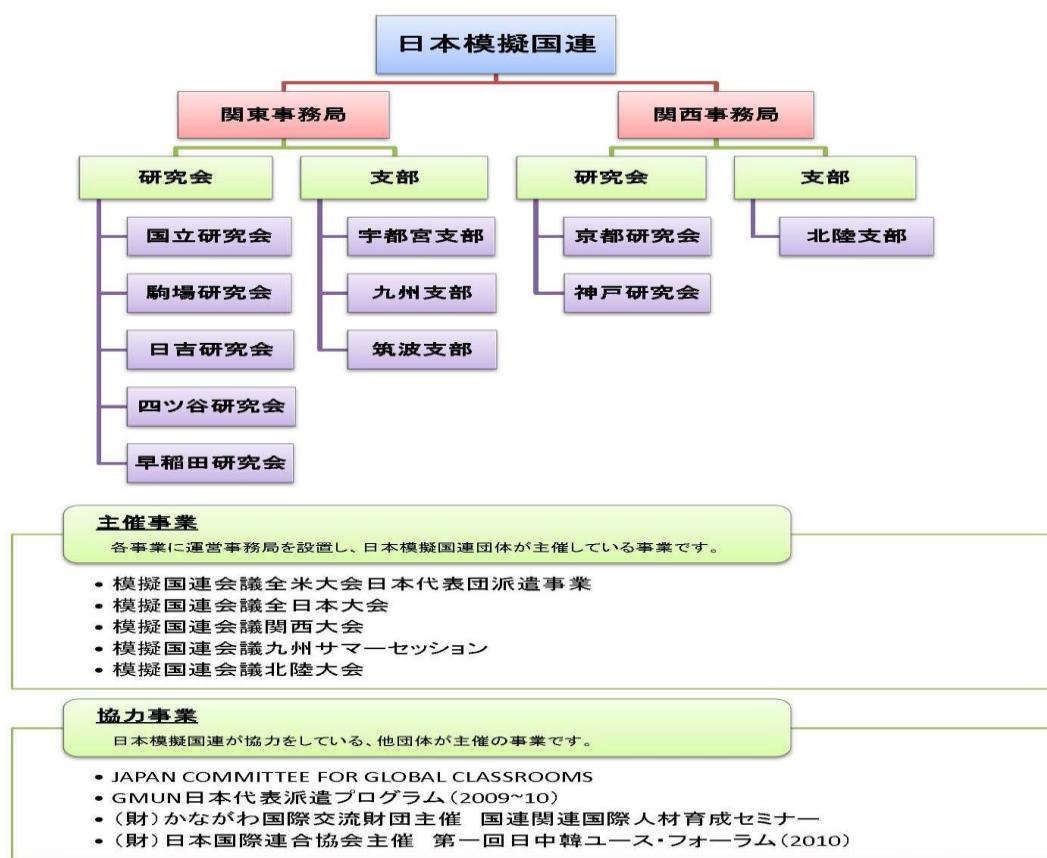
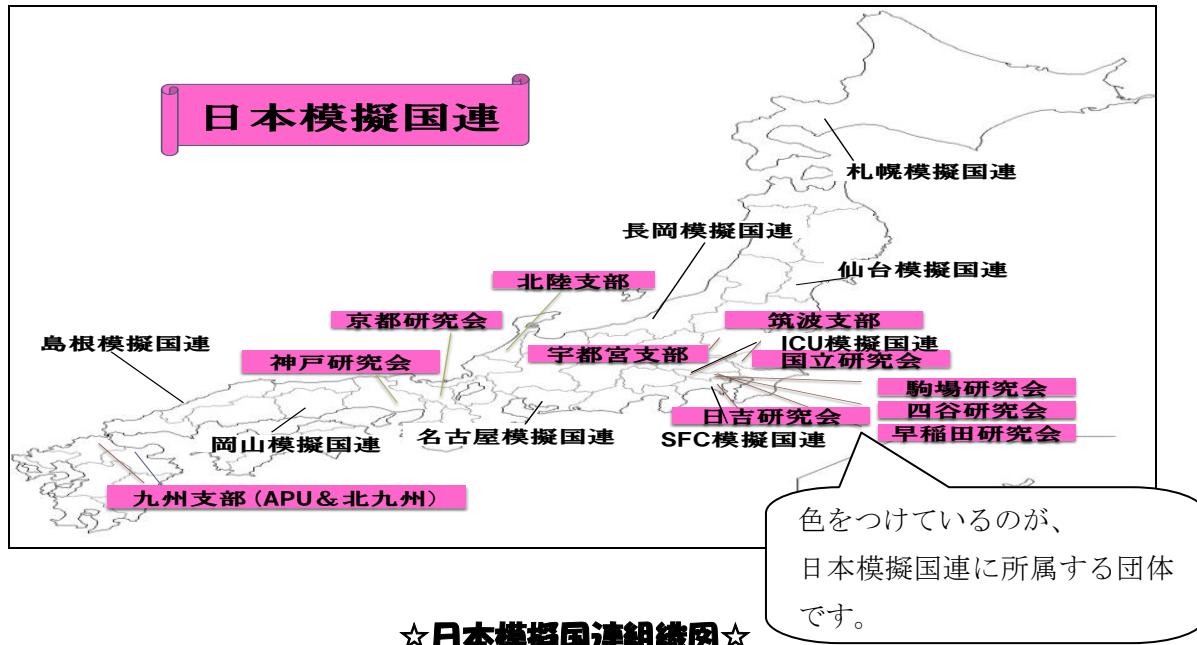
#### ① 加盟要件

→対外から見ると、日本の模擬国連が分裂しているように見え、社会的な信頼が低下してしまうから。

#### ② 団体の地位

→定義が不明確だと、団体ごとにどこまで権利と義務があるのか曖昧のままになってしまう。

## ●日本模擬国連～参考資料～



## ☆日本模擬国連組織図説明書☆

### 【JMUN 代表】

JMUN の対外的な情報窓口を務める存在です。代表は、関東事務局長と関西事務局長の互選によって選出され、今年は、杉江賢氏(関東事務局長兼任-早稲田研究会老メン)が代表をつとめています。またJMUN事務局はなく、日本模擬国連を代表する組織は、代表1人のみとなっています。

### 【関東・関西事務局】

日本模擬国連には、関東と関西に二つの事務局があります。双方の事務局の地位に順列はなく、平等な地位を有しています。関東事務局、関西事務局は、それぞれ事務局員を持ち、日本模擬国連規約に則した範囲での運営を行います。これらの下部にはそれぞれ研究会・支部が所属し、事務局は所属している研究会での合同イベントや新歓など研究会活動の補助や模擬国連の発展や拡大に寄与する活動を行います。また関東、関西において模擬国連の代表の役割も持ります。

### 【事業部門】

対外的に日本模擬国連という統一組織が大会運営をすることで社会からの高い信用を得ることができると考え、4大大会と全米大会は日本模擬国連に属す形態をとります。

### 《無所属団体》

無所属団体とは上記の日本模擬国連の組織図に属さない模擬国連団体のことを指します。当該団体は、北から札幌模擬国連、仙台模擬国連、長岡技大模擬国連、ICU模擬国連、SFC模擬国連、名古屋模擬国連、岡山模擬国連、島根模擬国連、以上8団体があります。

① 事業を「主催事業」と「協力事業」の2つにわけています。

#### ・主催事業について

「主催事業」とは、日本模擬国連団体が主催して行う事業のことで4大大会と全米団派遣事業を指す。

#### ・協力事業について

「協力事業」とは、JMUNが協力している他団体が主催の事業のこと。

企業と協力していることを広報し助成を得る目的で「協力事業」と名づけている。

この協力事業には、「Japan Committee for Global Classroom(高校生のための模擬国連)」、「GMUN 日本代表派遣プログラム」、「(財)かながわ国際交流主催 国連関連国際人材育成セミナー」、「(財)日本国際連合協会主催 第一回日中韓ユース・フォーラム」がある。

## ●2011年の模擬国連@関西

### 関西事務局

事務局長

**石川 清大**

京都研究会旧メン

同志社大学社会学部 2回生

### 関西大会事務局

事務総長：中川大輔

研究統括：廣政怜未

総務統括：戸田早紀子

### 神戸研究会執行部

会長：仲野謙心

研究：佐藤愛子

〃：結城栄一

総務：中谷圭祐

情報処理：森明彦



### 京都研究会執行部

会長：平野航

研究統括：副島梨沙

研究：植松紗友里

〃：南茂芽育

〃：福田雄一

総務：加藤菖子

〃：佐藤大軌

〃：辻内美緒子

情報処理：平野航(兼任)



### 第28代全米団

**川嶋菜々美（京都研究会）**

**萩中洲太（神戸研究会）**

## 2010年関西事務局決算

### 【収入】

<前期>

神戸研究会			
	人数	一人当たり事務局費	事務局費合計
新メン	19	¥1,000	¥19,000
旧メン以上	18	¥1,000	¥18,000
休会	9	¥500	¥4,500
合計	46		¥41,500
京都研究会			
	人数	一人当たり事務局費	事務局費合計
新メン	47	¥1,000	¥47,000
旧メン以上	31	¥1,000	¥31,000
休会	19	¥500	¥95,00
事務局費合計	97		¥87,500

<後期>

神戸研究会			
	人数	一人当たり事務局費	事務局費合計
新メン	18	¥1,000	¥18,000
旧メン以上	10	¥1,000	¥10,000
休会	11	¥500	¥5,500
事務局費合計	39		¥33,500
京都研究会			
	人数	一人当たり事務局費	事務局費合計
新メン	35	¥1,000	¥35,000
旧メン以上	22	¥1,000	¥22,000
休会	26	¥500	¥13,000
事務局費合計	68		¥70,000

歳入合計 ¥232,500

2. 【支出】

日付	摘要	支出
3月	第1回総会	
	会場費	¥2,040
	ゲスト交通費	¥4,360
4月	新歓関係費	
	新歓補助費:京都研究会	¥20,210
	新歓補助費:神戸研究会	¥20,210
	プロシージャー講習会	¥2,986
5月	第2回総会	
	会場・備品費	¥15,876
	印刷費:総会資料	¥1,530
	講演者交通費	¥5,000
	講演者花代	¥2,100
8月	代表者会合	
	会場費	¥2,400
9月	サマープロ	
	SummerProject10補助	¥56,897
10月	OB/OG会	
	OB/OG会補助費	¥5,220
12月	第3回総会	
	会場・備品費	¥9,930
	印刷費:総会資料	¥2,000
	懇親会補助費	¥20,000
	事務局諸経費	
	サーバー代	¥7,500
	日本模擬国連関西事務局印鑑	¥6,000
	局長出張費×2	¥3,000
	旧メン引き継ぎMTG関連費	¥3,223

収入額	¥232,500	繰越金	¥382,408
支出額	¥190,482		
余剰金	¥42,018		

## ●2010年の関西事務局員

**事務局長** : 三本哲行

**副事務局長** : 清野紘史

**情報処理** : 市来健司

**会計** : 石川清大

**局員** : 黒木萌莉花 (9月より入局)

: 棚瀬絢子 (9月より海外留学)

: 金澤良太

: 新谷千織

